

配 付 資 料

日 時 2014年9月13日(土) 15:15～16:00 (終了予定)
会 場 東京家政大学 板橋キャンパス 161B 講義室(第2会場)

司会 青木 猛正 研究会企画委員会委員

- 次 第 -

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 事業報告
 - ・ 2013年度事業報告 . . . (資料1)
 - ・ 活動日誌 . . . (資料2)
4. 議決事項
 - 第1号議案 2013年度決算承認の件 . . . (資料3)
 - 第2号議案 新役員等承認の件 . . . (資料4)
 - 第3号議案 日本キャリアデザイン学会倫理規程制定の件 . . . (資料5)
 - 第4号議案 2014年度事業計画案の件 . . . (資料6)
 - 第5号議案 2014年度予算案の件 . . . (資料7)
 - 第6号議案 次期会費の納入時期の変更の件 . . . (資料8)
5. 2015年度研究大会・総会の件 . . . (資料9)
6. 新役員紹介
7. 閉会の辞

以上

資料1 2013年度 事業報告

1. 会員数の推移

正会員は昨年より31名増加し会員数は、1,281名(昨年比102.2%)となった。

会員状況 単位:名 (2014年8月31日現在)

会員種別	2010年	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	前年比
正会員	788	834	859	920	949	29
正会員(院生)	100	112	122	134	136	2
学生会員	25	25	25	24	25	1
賛助会員(個人)	136	133	131	134	131	-3
賛助会員(団体)	38	41	41	41	40	-1
合計(人)	1,087	1,145	1,178	1,253	1,281	28

2. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、用語の整理、概念の深化及び実態の多角的な検討など、キャリアに関する基礎研究の必要性は今後も変わらない。

付け加え、キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する、との認識の下、諸活動を行った。

3. 今期および中期的活動計画

今年度、当学会は設立10周年を迎えた。日本人のキャリアの何が変わり、何が変わらなかったか、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したもの、積み残したものは何かを明らかにすることを通じて、この10年間のキャリア研究の成果と課題をまとめることを活動計画とし、記念誌の発行、研究大会での講演・シンポジウムを企画した。また、これらの成果を踏まえ、これからの10年間を見据え、研究活動・社会的活動・地域活動のさらなる発展の基礎を構築する。

4. 研究組織委員会活動

当期方針の通り、各委員長を中心として委員会活動を推進した。その活動は以下のとおりである。

(1) 研究会企画委員会

平林正樹委員長・山口憲二副委員長のもと、計6回の研究会を開催した。研究会は前年に引き続き、「著者と語る」、「障害者のキャリアデザインを考える」、「女性のキャリアを考える」などのテーマ別シリーズ企画も実施した。また、キャリア政策研究・国際交流委員会との共催により、「東日本大震災後のキャリアデザインについて考える」シリーズも開催し、「多様な会員の出会い・交流・相互啓発の場」となった。

さらには、第11回(10周年記念)研究大会の開催に向けて、各部門と連携の上で企画・

検討・準備を実施した。

(2) 研究誌編集委員会

川崎友嗣委員長のもと、各編集委員のご尽力により、研究誌『キャリアデザイン研究 Vol.10』を9月13日に発行した。投稿論文等は34件で、査読の結果、18件（論文10件、研究ノート6件、資料2件）を掲載するにいった。

(3) 広報委員会

堀内泰利委員長のもと、各編集委員の協力により、会員向け情報誌としてキャリアデザイン・ニュースレターを毎月配信するとともに、一般向け広報誌としてキャリアデザインマガジンを隔月配信した。

(4) キャリア政策研究・国際交流委員会

大庭委員長のもと、2013年12月委員会にて、震災後のキャリアデザイン(会員向けの研究会として実施)と政策提言のための勉強会(役員向け)を二本立てでやっていく方針を決定した。 に関しては、昨年度に3回勉強会をすでに実施しているため、今年度に関しては2014年4月19日に東日本大震災後のキャリアデザインについて考える(4) 研究と支援の現場から(玄田 有史 氏、東京大学社会科学研究所教授、青木 耕太郎 氏 NPO 法人 POSSE)を研究企画委員と共催した。2014年6月委員会開催し、次年度の方針(目的、勉強会のテーマ設定など)について検討を行った。

(5) キャリアデザイン支援ハンドブック編集委員会

川崎友嗣委員長のもと、3回の委員会(委員会1回、小委員会2回)を開いてハンドブックの構成や編集作業について検討するとともに、各編集委員のご尽力により、編集作業を進めた。『キャリアデザイン支援ハンドブック』(日本キャリアデザイン学会監修)として、ナカニシヤ出版より発行された(奥付は、2014年10月10日発行)。

(6) 10周年記念事業委員会

脇坂委員長のもと、10周年記念誌を3月31日に発行し、会員に配付した。

5. 地域活動

副会長と各支部長との連携のもと、各支部主催の研究会の検討・推進・地域の会員との交流会を開催した。

(1) 関西支部

松高政支部長のもと、支部役員会を3回開催し、年1回の関西支部大会、年1回の関西支部研究会(WACE プレ大会における支部協賛研究会として)を開催した。

(2) 中京支部

金井篤子支部長のもと、今後の支部活動について検討を行った。

(3) その他の地域

赤坂武道会員(北海学園大学)を中心に、第1回北海道交流会を3月15日に北海学園大学

にて開催した。

6.その他の活動

株式会社エイチ・ユーの事務局業務からの撤退に伴い、ぶんしん出版（東京都三鷹市上連雀 1-12-17 ビジネスパーク 2 号館）を事務局として選定し、業務を移管した。

7.決算

研究組織委員会の活動、10周年記念事業、事務局の移転に伴う諸会費増等によって、当初予算をオーバーした。

資料2 活動日誌

行事等	日付	主な内容	場所
研究大会	2013年10月26日、 27日	<p>第10回研究大会 特別講演：グローバル時代のキャリア戦略 MyNewsJapan 渡邊正裕氏 学会主催シンポジウム：グローバル社会と地域をつなぐ人材 - グローバル社会におけるキャリアデザインの多様性と可能性 - アボット ジャパン株式会社 永井裕美子氏、マニー株式会社 高井壽秀氏、武蔵野大学 洞口光由氏、東京大学 玄田有史氏（コーディネーター）法政大学 池永肇恵氏(指定討論者大学院) ミニシンポジウム(1):高校-大学-企業のつながりで考える高度グローバル人材の育成に関する現状と課題 加藤学園暁秀高等学校中学校 ウェンドフェルト延子氏、上智大学 寺田勇文氏、日本経済団体連合会社会広報本部 本部長 井上洋氏、富士電機株式会社 内田勝久氏（コーディネーター） ミニシンポジウム(2):地域中小企業、職業高校におけるグローバル人材育成の取り組み 千葉県立東総工業高等学校 山田勝彦氏、株式会社パソナ 江邊信太郎氏、拓殖大学 石毛昭範氏（コーディネーター） ワークショップ:「就活うつ」と「新型うつ」を考える -STWの観点から- 神田東クリニック 吉村靖司氏、東京大学大学院 本田由紀氏、産業精神保健研究所 大庭さよ氏(コーディネーター)</p>	武蔵野大学
理事会	2013年10月26日	<p>2013年度第1回理事会 2012年度事業報告、活動日誌、2012年度決算、2013年度活動計画、2013年度予算、学会規約改定、理事選挙に関する規程、その他</p>	武蔵野大学
総会	2013年10月26日	<p>総会 2012年度事業報告、活動日誌、2012年度決算、2013年度活動計画、2013年度予算、学会規約改定、理事選挙に関する規程、その他</p>	武蔵野大学
研究誌	2013年10月26日	研究誌『キャリアデザイン研究』Vol.9発行	
研究会企画委員会	2013年11月9日	<p>第1回研究会企画委員会 第10回研究大会の総括、次回・10周年記念大会のテーマについて、2014年の研究会について</p>	法政大学
ニュースレター	2013年11月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第110号	

行事等	日付	主な内容	場所
研究会	2013年11月23日	第53回研究会「女性のキャリアデザインを考える」シリーズ(2) 民間企業における女性の就業と出産～中小企業を中心に～、労働政策研究・研修機構 池田心豪氏、立教大学 杉浦浩美氏、早稲田大学 新井浩子氏、学習院大学 脇坂明氏(コメンテーター)	法政大学
関西支部研究大会	2013年11月23日	関西支部第4回研究大会 (1)キャリア形成支援プログラム(キャリア教育)シラバス案 - 主体的自律的キャリア形成実現のために - 立命館大学 五十川 進氏 (2)キャリア行動における社会変革・社会貢献実現力とは 山陽学園大学 神戸康弘氏 (3)標準レベルキャリア・コンサルタントと2級キャリア・コンサルタント技能士との保有能力差について - キャリア・コンサルティングを行うための基本的知識及び相談実施に置いて必要なスキルの自己保有間を中心に - 関西カウンセリングセンター 辻 彰彦氏・関西外国語大学 古田克利氏	関西大学
メールマガジン	2013年12月2日	キャリアデザインマガジン 112号	
研究会	2013年12月7日	第54回研究会 「働きやすい職場の実現」を目指すワークルール教育 放送大学 道幸哲也氏、法政大学 山本圭子氏(コメンテーター)	法政大学
ニュースレター	2013年12月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第111号	
10周年記念事業委員会	2013年12月22日	第5回10周年記念事業委員会 10周年記念誌の内容について	法政大学
常務理事会	2013年12月23日	2013年度第1回常務理事会・委員長合同会議 第11回研究大会、役員選挙、研究組織委員会報告、2014年4月以降の事務局体制、その他	法政大学
ニュースレター	2014年1月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第112号	
メールマガジン	2014年2月3日	キャリアデザインマガジン 113号	
研究会企画委員会	2014年2月11日	第2回研究会企画委員会 次回・10周年記念大会のテーマについて、今後の研究会について	産業能率大学
ニュースレター	2014年2月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第113号	
研究会	2014年2月22日	第55回研究会 ゲーム産業における開発者のキャリア発達：仕事・生活・学習の観点から 東京大学 松原健二氏、ポリゴンマジック株式会社 鶴谷武親氏、専修大学 藤原正仁氏	法政大学

行事等	日付	主な内容	場所
10周年記念事業委員会	2014年2月22日	第6回10周年記念事業委員会 10周年記念誌の編集等について	法政大学
理事会	2014年3月2日	臨時理事会 事務局体制、2014年度役員選挙について	法政大学
常務理事会	2014年3月2日	第2回常務理事会・研究組織委員会委員長合同会議 第11回研究大会について、2014年度役員選挙について、10周年記念誌について、事務局体制について、研究会組織委員会報告、その他	法政大学
研究会企画委員会	2014年3月10日	第1回研究会企画委員会・小委員会 次回・10周年記念大会のプログラムについて、その他	法政大学
ニュースレター	2014年3月14日	キャリアデザイン・ニュースレター第114号	
地区交流会	2014年3月15日	第1回北海道交流会 テーマ「北海道におけるキャリア教育の現状と課題」 基調講演 法政大学 児美川孝一郎氏 事例発表・意見交換会・参加者による分科会 (1)若手人材育成の取り組み事例 生活協同組合コープさっぽろ 奥山和俊氏 (2)企業と大学が連携したキャリア教育の試み～インターンシップ制度を事例として～ 北海学園大学 赤坂武道氏	北海学園大学
10周年記念事業委員会	2014年3月22日	第5回10周年記念事業委員会 10周年記念誌の発行等について	法政大学
10周年記念事業委員会	2014年3月31日	記念誌『日本キャリアデザイン学会10周年記念誌』 発行	
メールマガジン	2014年4月1日	キャリアデザインマガジン114号	
研究会企画委員会	2014年4月13日	第3回研究会企画委員会 次回10周年記念大会のテーマについて	東京家政大学
ニュースレター	2014年4月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第115号	
研究会	2014年4月19日	特別研究会 『東日本大震災後のキャリアデザインについて考える(4)』-研究と支援の現場から- 東京大学 玄田有史氏、NPO法人POSSE 青木耕太郎氏	法政大学
常務理事会	2014年4月27日	第3回常務理事会・研究組織委員会委員長合同会議 第11回研究大会プログラムについて、後援名義について、研究会組織委員会報告	法政大学
キャリアデザイン支援ハンドブック委員会	2014年4月27日	第1回キャリアデザイン支援ハンドブック編集委員会 進捗状況について	法政大学
ニュースレター	2014年5月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第116号	

行事等	日付	主な内容	場所
研究会	2014年6月1日	第56回研究会 著者と語るシリーズ(9) 上野千鶴子『女たちのサバイバル作戦』 社会学者 上野千鶴子氏	法政大学
ニュースレター	2014年6月16日	キャリアデザイン・ニュースレター第117号	
キャリア政策・国際交流会委員会	2014年6月23日	第1回キャリア政策・国際交流会委員会 中期テーマ設定、次年度テーマ設定、委員会の目的について	法政大学
常務理事会	2014年6月29日	第4回常務理事会・研究組織委員会委員長・研究企画委員会合同会議 第11回研究大会について、研究組織委員会報告	東京家政大学
常務理事会	2014年6月29日	常務理事会 役員選挙について	東京家政大学
キャリアデザイン支援ハンドブック委員会	2014年6月29日	第2回キャリアデザイン支援ハンドブック編集委員会 進捗状況について	東京家政大学
研究会企画委員会	2014年6月29日	学会主催シンポジウム関係者会議 第11回研究大会・シンポジウムについて	東京家政大学
倫理委員会	2014年6月29日	第1回倫理委員会 倫理規程について	東京家政大学
メールマガジン	2014年7月1日	キャリアデザインマガジン115号	
ニュースレター	2014年7月4日	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
研究会企画委員会	2014年7月5日	第4回研究会企画委員会 第11回研究大会・自由研究発表について	東京家政大学
研究会	2014年7月12日	第57回研究会 『支援する側、支援される側双方のキャリアを考える あすはな先生の例から』 一般社団法人子ども・青少年育成支援協会 上木誠吾氏、元あすはな先生松田詩織氏、 和光大学 坂爪洋美氏	日本経済大学
ニュースレター	2014年7月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第118号	
理事会準備会議	2014年8月9日	理事会準備会議 理事選挙結果について、会長選出、副会長・常務理事等の承認について、その他	中央大学 駿河台記念館
ニュースレター	2014年8月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第119号	
ニュースレター	2014年8月29日	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
関西支部	2014年8月30日	関西支部第16回研究会(WACE プレ大会) テーマ キャリアデザインにおける産学協働のあり方 神戸学院大学 中村恵氏、法政大学 児美川孝一郎氏、関西大学 川崎友嗣氏、京都産業大学 松高政氏、パナソニック株式会社 村田充範氏	京都産業大学むすびわざ館

行事等	日付	主な内容	場所
キャリア政策研究・国際交流会委員会	2014年9月6日	委員長・副委員長引継ぎ会議 2013年度の活動報告、2014年度の事業計画	学習院大学
研究会企画委員会	2014年9月7日	委員長・副委員長引継ぎ会議 2013年度の活動報告、2014年度の事業計画	中央大学 駿河台記念館
研究誌編集委員会	2014年9月7日	委員長・副委員長引継ぎ会議 2013年度の活動報告、2014年度の事業計画	中央大学 駿河台記念館
広報委員会	2014年9月7日	委員長・副委員長引継ぎ会議 2013年度の活動報告、2014年度の事業計画	中央大学 駿河台記念館
常務理事会	2014年9月7日	第5回常務理事会・研究組織委員会委員長合同会議 第11回研究大会・総会について、2013年度事業報告案、2014年度事業方針・計画、個人情報の取扱い、倫理規程、次期役員について	中央大学 駿河台記念館
研究誌	2014年9月13日	研究誌『キャリアデザイン研究』Vol.10発行	

日本キャリアデザイン学会 2013年度決算書

貸借対照表

2014年8月31日現在

資産・負債別/科目		金額	備考	
資産の部	流動資産	普通本口（三菱東京UFJ）	4,947,107	
		普通大会口（三菱東京UFJ）	674,028	
		普通関西大会口	245,419	
		郵便貯金	78,977	
		前渡金	0	
		前払費用	0	
		仮払金	0	
		流動資産合計	5,945,531	
資産合計		5,945,531		
負債の部	流動負債	未払金	285,226	
		前受金	0	
		預り金	0	
		流動負債合計	285,226	
負債合計		285,226		
正味財産の部		5,660,305		
（うち当期収支差額）		1,200,767		
負債及び正味財産合計		5,945,531		

日本キャリアデザイン学会 2013年度決算書

収支計算書

2013年10月1日～2014年9月30日(8月31日現在)

科目別	8/31現在	9月予定分 (概算)	決算見込み 額	予算額	差額
I. 収入の部					
会費収入	9,489,900	0	9,489,900	8,700,000	789,900
大会会費収入	1,898,500	450,000	2,348,500	3,500,000	-1,151,500
研究会参加費収入	414,500	0	414,500	300,000	114,500
研究誌等販売収入	113,550	0	113,550	150,000	-36,450
関西支部収入	36,000	0	36,000	100,000	-64,000
地域活動収入	0	0	0	100,000	-100,000
その他事業収入	0	0	0	0	0
受取利息	425	0	425	1,000	-575
当期収入計(A)	11,952,875	450,000	12,402,875	12,851,000	-448,125
前期繰越資金	4,459,538		4,459,538	4,459,538	0
収入合計(B)	16,412,413	450,000	16,862,413	17,310,538	-448,125

科目別	8/31現在	9月予定分 (概算)	決算見込み 額	予算額	差額	備考
II. 支出の部						
大会関連支出	2,250,090	2,100,000	4,350,090	5,000,000	-649,910	第10回、第11回 2回分
関西支部支出	114,564		114,564	300,000	-185,436	
地域活動費	149,064		149,064	150,000	-936	
業務委託費	2,088,000	252,000	2,340,000	2,340,000	0	事務局委託費
広告宣伝費	0		0	200,000	-200,000	
旅費交通費	772,300	200,000	972,300	900,000	72,300	理事会、委員会等旅費
通信費・運賃	1,160,272	92,200	1,252,472	600,000	652,472	ホームページ維持費(400千)、 ニュースレター送信、会員への送付
謝礼金	295,014		295,014	400,000	-104,986	研究会講師謝金、テープ起こし
会合費	251,954	50,000	301,954	200,000	101,954	
消耗品費	354,851		354,851	200,000	154,851	
印刷費	1,573,950		1,573,950	2,000,000	-426,050	研究誌発行(1600千)他
支払手数料	200,249	3,000	203,249	300,000	-96,751	銀行振込手数料 口座引き落とし手数料
諸会費	180,000		180,000	90,000	90,000	中央職業能力開発研究会年会費
研究助成金	0		0	0	0	2013年度は10周年事業のためなし
10回記念大会委員会事業	1,361,800	3,088,000	4,449,800	3,700,000	749,800	キャリアデザインハンドブック 出版(3000千)、10周年記念 誌(1300千) 会員送付済
予備費・雑費	0		0	100,000	-100,000	
当期支出計(C)	10,752,108	5,785,200	16,537,308	16,480,000	57,308	
当期収支差額(A)-(C)	1,200,767		-4,134,433	-3,629,000	-505,433	
次期繰越資金(B)-(C)	5,660,305		325,105	830,538	-505,433	

監査報告書

日本キャリアデザイン学会

会 長 中村 恵 殿

当学会の2013年10月1日から2014年8月31日までの収支報告書（仮締）及び2014年8月31日現在の貸借対照表（仮締）は、法令に従い当学会の状況を正しく示しているものと認めます。

2014年9月11日

監事・公認会計士 平野 毅



資料4 新役員候補者について

1. 選挙結果概要

選挙人資格者	727
投票者数 (投票率)	314 (43.2%)
うち有効得票	289
うち無効票	25
無効投票	2
締切後着 (未開封)	23

2. 新役員候補者一覧

役職	氏名	所属
会長	中村 恵	神戸学院大学
副会長	玄田 有史	東京大学
副会長	児美川 孝一郎	法政大学
副会長	脇坂 明	学習院大学
常務理事	青木 猛正	埼玉県立上尾かしの木特別支援学校
常務理事	内田 勝久	富士電機(株)
常務理事	金井 篤子	名古屋大学
常務理事	川崎 友嗣	関西大学
常務理事	武石 恵美子	法政大学
理事	依田 素味	日本経済大学
理事	岡田 昌毅	筑波大学
理事	川喜多 喬	法政大学
理事	佐藤 厚	法政大学
理事	長坂 廣幸	愛知県職業能力開発協会
理事	服部 文彦	愛知県立岡崎商業高等学校
理事	深谷 潤一	特定非営利活動法人 ICDS
理事	船津 静代	名古屋大学
理事	松高 政	京都産業大学
理事	山口 憲二	新島学園短期大学
理事	渡辺 三枝子	立教大学
事務局長	伊藤 文男	東京家政大学
事務局次長	荒井 明	産業能率大学
顧問	清成 忠男	法政大学
監事	平野 毅	(公認会計士)
監事	田中 勝男	(公認会計士)

【研究組織委員会】

委員長	玄田 有史	東京大学
-----	-------	------

【研究大会企画委員会】(新設)

委員長	青木 猛正	埼玉県立上尾かしの木特別支援学校
副委員長	依田 素味	日本経済大学

【研究会企画委員会】

委員長		
-----	--	--

【研究誌編集委員会】

委員長	川崎 友嗣	関西大学
副委員長	岡田 昌毅	筑波大学
副委員長	上西 充子	法政大学

【広報委員会】

委員長	内田 勝久	富士電機(株)
副委員長	荻野 勝彦	トヨタ自動車(株)

【キャリア研究・政策・国際交流委員会】(名称変更)

委員長	脇坂 明	学習院大学
副委員長	佐藤 厚	法政大学

【15周年記念事業委員会】(新設)

委員長	武石 恵美子	法政大学
-----	--------	------

【関西支部】

委員長	松高 政	京都産業大学
副委員長	生駒 俊樹	京都造形芸術大学

【中京支部】

委員長	金井 篤子	名古屋大学
-----	-------	-------

資料 5

日本キャリアデザイン学会倫理規程(案)

前文

日本キャリアデザイン学会は、キャリアデザイン及びそれに密接に関わる諸領域の研究者・実務家を中心にした共同研究の場となることによって、生涯学習社会における個人のキャリア発達、及びそれを支える社会の発展に寄与しうるキャリアデザイン学を構築し、発展させ、普及させることを目的とする。

本学会においてこれらの活動を行うにあたっては、会員は以下に定めるところに従う。

(責任)

第1条

会員は、自らの行う研究・教育・実践を通じた諸活動が、個人・組織・社会に対して影響を及ぼしうることを認識し、社会的責任への明確な自覚をもって行動しなければならない。

(人権の尊重)

第2条

会員は、自らの行う研究・教育・実践を通じた諸活動において、研究及び実践の協力者・関係者の人権を尊重し、これを侵害することのないよう、最大限の努力を払わねばならない。

2 会員は、研究及び実践の協力者・関係者の個人間や集団間に存在する差異を尊重し、偏見をもって行動したり、差別を行ってはならない。

(説明と同意)

第3条

会員は、研究や実践の実施に際して、その目的および具体的内容について協力者・関係者に説明し、文書または口頭で同意を求めなければならない。この際には、研究参加への勧誘は過度のものであってはならない。

2 会員は、学校、職場、家庭、各種施設などにおいて研究や実践を行う場合には、当該組織・機関の現場の責任者の許可を得なければならない。

3 研究や実践の協力者が、自らの意志で参加を拒否、途中で中断あるいは放棄できることを事前に説明しなければならない。また、協力を拒否した場合でもそのことによって何らの不利益を被ることがないことを説明しなければならない。

4 研究実施の都合上、事前に説明を行うことが困難な場合には、事後速やかに事情を説明し、同意が得られた場合にのみ、その資料を使用することができる。

(情報の管理と守秘義務)

第4条

会員は、研究や実践の活動によって得られた個人情報ならびに組織の秘密情報については厳重に管理し、個人のプライバシーや秘密が侵害されないよう、これを厳重に管理し秘密の保持に努めなければならない。

2 これらの情報については、実施時に同意を得た本来の目的以外に使用してはならず、また同意を得た情報以外を利用してはならない。

(公開)

第5条

研究や実践の成果については、各種学会大会や研究会などでの発表、論文や著書の公刊などを通じて、できる限り社会還元するよう努力しなければならない。

- 2 研究結果や実践の成果を公開するに際しては、研究のもたらす社会的、人道的、政治的意義に十分配慮し、専門家としての責任を自覚して行わねばならない。
- 3 研究のために用いた各種資料等についてはその出典を明記しなければならない。また、他者の知的成果、著作権を侵してはならない。
- 4 研究によって得られたデータ、情報、調査結果などを、改ざん、捏造、偽造してはならない。
- 5 共同研究においては、共同研究者の権利と責任に配慮しなければならない。

(会員の活動)

第6条

会員は、会員以外の第三者に対して、会員への入会を強要してはならない。また、本人の意思に反する入会手続きをしてはならない。

2 会員は、大会・研究集会・研修会など会の行事に関し、他の会員および第三者に対して、本人の意思に反して当該行事への参加を求めてはならない。

3 会員は、本学会の役員、研究組織委員会委員並びに会員である立場を利用し、他の会員または第三者に対して、営利活動その他本来の目的以外の活動をしてはいけない。

(申し出)

第7条

学会規約及び前条の規定に抵触する行為があるとの申し出は、別に定める手続きにより、本学会の事務局が受け付ける。

2 申し出の手続きは、本学会のホームページにて周知する。

(倫理委員会)

第8条

常務理事会は、前条の申し出が会員または第三者からあった時は、速やかに倫理委員会を設置しなければならない。

2 倫理委員会は、常務理事会が推薦する三名以上の理事と事務局長または事務局次長で組織する。

3 前項の規定にかかわらず、倫理委員会が必要と認めた場合には、第三者を委員として加えることができる。

(事実の調査)

第9条

倫理委員会は、当該申し出の事実を調査し、その結果を理事会に報告しなければならない。

(会員の資格喪失の判断)

第10条

理事会は、倫理委員会の報告に基づいて、規約第9条第1項第3号に関わる判断を行う。

(倫理の遵守)

第11条

会員は、学会の設立趣旨、学会規約および本規程を十分に理解し、これに違反することがないように常に注意すると共に、研鑽する機会をもつよう努めなければならない。

(改定)

第12条

本規程の改定は、理事会の発議に基づき、総会において決定する。

附則

本規程は、平成26年9月13日より施行する。

1. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、またアカデミックと現場実務との相互交流及び相互作用を重視する学会として、用語・概念の整理や深化、現場実態の多角的な検討やその理論的解釈など、キャリアに関する基礎研究とその成果共有の必要性、重要性は今後も変わらない。

付け加え、キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する。

2. 今期および中期的活動計画

当学会は昨年度設立 10 周年を迎え、今年度はその新たな 5 年、10 年に向けた始まりの年となる。すでに、10 周年記念誌において、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したもの、積み残したものは何かを明らかにし、今後のキャリア研究の課題をまとめる作業を行った。また、本第 11 回研究大会においても、その成果を踏まえた企画シンポジウムが行われる。これらの成果とディスカッションを踏まえて、研究大会テーマであるキャリアデザインの創造的相互作用を深化させるとともに、今後の新たな 10 年間の研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標とする。

なお、学会活動およびそのサービスのさらなる発展と向上のため、様々な観点から学会運営のあり方を再点検し、より充実した効率的な学会活動を実現するための施策を検討する。

(1) 研究組織委員会の活動

日本キャリアデザイン学会が 10 年の節目を迎えたことを踏まえ、あらためて学会としてのキャリアデザインに関する学術的研究の方向性および方針を総合的に検討する。あわせて学会の持続的発展を可能とするための、研究組織全体の効果的運営に向けた検討も行う。

研究大会企画委員会(新設)

第 12 回研究大会のテーマや全体企画等研究組織委員会の方針・決定を受けて、全体プログラムの検討、細部の企画・運営、並びに広報活動を行う。

研究会企画委員会

関東地区で、基本的に隔月 1 回の研究会の企画・運営を行う。前年度までの実績によるシリーズ企画の継続を基本に、会員の多様な要請に対応した企画やタイムリーな企画等一般会員の協力も得て開催し、会員交流の活性化を促進する。

研究誌編集委員会

従来どおり、2014 年 12 月 1 日から 2015 年 1 月 10 日まで投稿を受け付け、研究誌 Vol.11 を発行する。編集委員会の体制や査読システムについて検討し、Vol.12 から適用できるよう整備を進める。懸案事項のままとなっている掲載論文の電子

化（CiNii への登録）についても検討を行う。

広報委員会

月 1 回のニュースレターの定期発行（会員各層からの寄稿充実）、2 か月に 1 回のメールマガジンの定期発行（ニュースレターコンテンツの活用）、ホームページの充実を行う。

キャリア研究・政策・国際交流委員会(名称変更)

委員会の名称を変更し、2013 年度の活動を踏まえつつ、キャリアデザインの創造的相互作用を深化させると共に、今後の新たな 10 年間の研究活動の新たな発展の基礎構築に向けた活動に着手する。

15 周年記念事業委員会(新設)

学会設立 15 周年に向けて、記念事業の検討に着手する。

(2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会の推進、地域の会員との交流会を開催する。

関西支部

今年度も、年 1 回の関西支部大会、年 2 回の関西支部研究会を開催する。

中京支部

年 2 回の研究会を開催する。

その他の地域

各地区での交流会を積極的に推進する予定である。

3. その他の活動

必要に応じて会員アンケートを実施しながら、会員の積極的な参加を促進し、役員と会員の協働によって諸活動を推進したい。

会員名簿・会員業績目録の作成について

学会ホームページを利用した名簿及び会員業績目録のデータベースについては、個人情報保護法の観点からデータベースのあり方を検討する。

他学会等との連携

キャリアに関する研究活動を行っている学会、研究機関、メディア等と連携した研究活動をさらに推進したい。

資料7 2014年度予算案の件

日本キャリアデザイン学会 2014年度予算（案）

収支計算書

2014年10月1日～2015年9月30日

科目別	予算	2013年度 決算見込み額	差額	科目別	予算	2013年度 決算見込み額	差額	備考
I. 収入の部				II. 支出の部				
会費収入	9,500,000	9,489,900	10,100	大会関連支出	2,500,000	4,350,090	-1,850,090	2013年度は、10、11回大会分 2014年度は、12回大会分
大会会費収入	1,300,000	2,348,500	-1,048,500	関西支部支出	200,000	114,564	85,436	
研究会参加費収入	300,000	414,500	-114,500	地域活動費	150,000	149,064	936	
研究誌等販売収入	110,000	113,550	-3,550	業務委託費	2,628,000	2,340,000	288,000	事務用委託費
関西支部収入	50,000	36,000	14,000	広告宣伝費	250,000	0	250,000	学会パンフレット(250千円)
地域活動収入	100,000	0	100,000	旅費交通費	800,000	972,300	-172,300	理事会、委員会等旅費
その他事業収入	0	0	0	通信費・運賃	1,150,000	1,252,472	-102,472	ホームページ維持費(400千円)、 ニュースレター(200千円)、会 員への送付
受取利息	425	425	0	謝礼金	350,000	295,014	54,986	研究会講師謝金、テーブルこし
当期収入計(A)	11,360,425	12,402,875	-1,042,450	会合費	300,000	301,954	-1,954	会議室等借用含む
前期繰越資金	325,105	4,459,538	-4,134,433	消耗品費	200,000	354,851	-154,851	
収入合計(B)	11,685,530	16,862,413	-5,176,883	印刷費	1,750,000	1,573,950	176,050	研究誌発行(1600千円)、刻簡代 (150千円)
				支払手数料	200,000	203,249	-3,249	銀行振込手数料 口座引き落とし手数料
				雑会費	90,000	180,000	-90,000	中央職業能力開発研究会年会費
				研究助成金	500,000	0	500,000	
				15周年記念大会委員会事業	150,000	4,449,800	-4,299,800	15周年に向けた積立
				予備費・雑費	100,000	0	100,000	
				当期支出計(C)	11,318,000	16,537,309	-5,219,309	
				当期収支差額(A)-(C)	42,425	-4,134,433	4,176,858	
				次期繰越資金(B)-(C)	367,530	325,105	42,425	

資料 8 次期会費の納入時期の変更について

1. 現状

近年の積極的な研究組織委員会各委員会の活動による役員の旅費交通費(遠距離のみ)の増加、事務局業務の委託先変更等に伴う諸経費の増加が発生した一方で、研究大会の収入が年々減少し、単年度の収支バランスを確保することも、厳しい状況となってきた。

そこで、2014年度予算では、常務理事会・研究組織委員会の回数を減らし旅費交通費と会合費を抑える、研究助成金を従来の半額とする、15周年事業の積立を予定の半額とするなどによって、単年度の収支バランスを辛うじて維持することとした。

今年度は10周年事業における支出の増加も見込まれ、2013年度当初の次期繰越資金が縮小する結果となった。この次年度繰越金が縮小することによって、次年度における会費収入が入金される時期までの運転資金不足が懸念される事態となった。

2. 対応

研究組織委員会に、監事を含めた経費節減の検討チームを編成し、経費の妥当性や節約の可能性を探ると共に、従来の会員サービスを提供すると収支バランスを確保することが困難となった場合には、2015年度からの会費の値上げも視野に入れて財政基盤強化の検討を行う。

会費の前倒し納入を、経費処理上支障のない会員の皆様にご協力いただきたい。

前倒し時期：一次前倒し：2月27日(金)

二次前倒し：4月30日(木)

(前倒しなし：6月26日(金))

手続き方法：今後検討し、ニュースレター等で周知する

以上

資料 9

2015 年度研究大会・総会の開催

主宰校：北海学園大学

豊平キャンパス

〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号

地下鉄 東豊線「学園前」駅にて下車。3 番出口直結。

(「大通」駅より乗車 5 分、「さっぽろ」駅より乗車 6 分)

南北線「平岸」駅、「中島公園」駅、東西線「菊水」駅より徒歩約 15 分

日程：2015 年 9 月 5 日(土)、6 日(日)

